

1. はじめに

人間は色々な物に頼って生きている。中でも薬や漢方は人間の体に作用し体の調子や精神を整えたりすることができ、吉にも凶にも働く。

今回我々は花屋に普通に置いてある花や草にもそのような作用を持つものが多くあることを知り、その作用を確かめてみることにした。

なお実験の内容は喫煙行為には該当しないので違法ではないが、喫煙に類似する行為があるため、公の場を示すにはよくないと思念のため中野の成人済みの従兄弟 1 人に協力してもらうことにした。そしてこの記事は未成年のタバコやアルコールなどの薬物や、大麻などの違法薬物の摂取を推奨する物ではないので以下の実験内容は絶対に真似しないようにしていただきたい。

2. 実験内容

(1) 概要

煙を冷やしゴミを取り除くために、ボングやシーシャと呼ばれる喫煙具と同じ構造をした物を作り、ロベリアという興奮作用や多幸福感や嘔吐の作用があるとされる植物を乾燥させて粉々にした物を、火皿の部分に乗せライターで炙って吸った。その効果を報告する。

ロベリアは別名インディアンタバコと呼ばれ、昔のアメリカでは嘔吐剤として使われていた。ロベリンという物質には気管支を広げる作用があり、使いすぎると低血圧にな



写真 1(ロベリアの花)



写真 2(上の花を乾燥粉碎したもの)

り最悪死に至る。とは言っても、塩にも砂糖にも、どんな物にも致死量はあるものだ。どうやらアホみたいな量でなければ死んだり救急車で運ばれたりすることはないようだ。しかし我々は万が一に備え、少量から徐々に量や回数を増やして実験することにした。

(2) 用意したもの

- ・ペットボトル 1 つ
- ・タピオカ用ステンレスストロー 2 本
- ・生クリーム絞るときに使う金具 1 つ(写真 3)
- ・グルーガン
- ・ライター
- ・目の細かいザル(写真 4)
- ・水
- ・成人済みの従兄弟



写真 3



写真 4

※金属部分のパーツには絶対に変な塗装が使われているもの、銅や鉛のような毒性の強い金属を含むものを使わないようにする必要がある。

(3) 実験手順

- ①熱した金属棒を使いペットボトルの蓋の部分と側面に 1 つずつ穴を開ける。
- ②2 つの穴にステンレスストローを差し込みグルーガンで接着する。
- ③蓋の部分のステンレスストローに、ちょうどよく加工した生クリームを絞るときに使う金具を差し込みハンマーで叩き接着する(火で炙るため絶対にグルーガン、プラスチック、接着剤などでくっつけてはいけない)。
- ④目の細かいザルの底を切り取りちょうどいい大きさに切りとる。③で作った部分にちょうどよく収まるように差し込む(ロベリアが火皿からペットボトルに落ちないようにするため)。
- ⑤ペットボトルに水を入れる。
- ⑥火皿部分にロベリアを乗せライターで炙りブクブクと吸う。



写真 5(完成した装置)

(4) 実験結果

従兄弟によると、多幸感や興奮をはっきり感じることはなかったが、いつもと違う感じが少しだけしてふわふわした気分になったようだ。もしかしたら気持ちよかったかもしれない。また、同時にほんの少し吐き気を感じていたかもしれない。



左：写真 6(ロベリアを乗せた後の様子)

右：写真 7(火を点けた後の様子)

(5) 考察

ロベリアの中のロベリンという物質が水によく溶けるため、上記の装置では水に溶けてしまいあまり効果を感じることが出来なかったのかもしれない。なので、巻きタバコ用の巻紙を使うとより効果が得られるかもしれない。

また、情報が少ないため、君子危うきに近寄らずということで躊躇し、少ない量で試したのが良くなかったのかもしれない。

3. おわりに

我々が実際に経験したわけではないのでわからないが、従兄弟は面白かったと語っていた。今後も、法に触れない物で似たようなことをしても面白いだろう。最後まで読んでいただきありがとうございました。